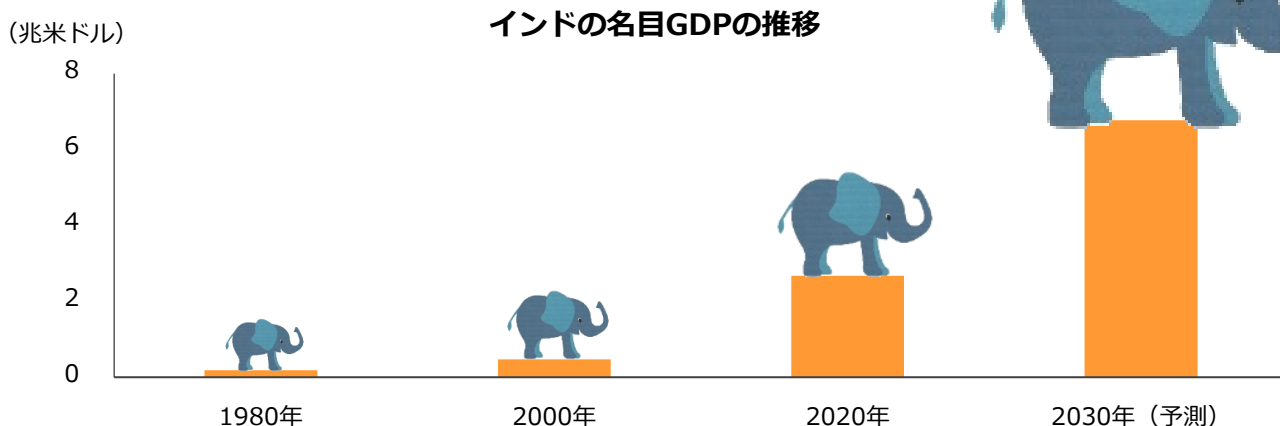


# 進撃の巨象 ～インドは止まらない～

HSBCアセットマネジメント株式会社

## インド経済の見通しは堅調

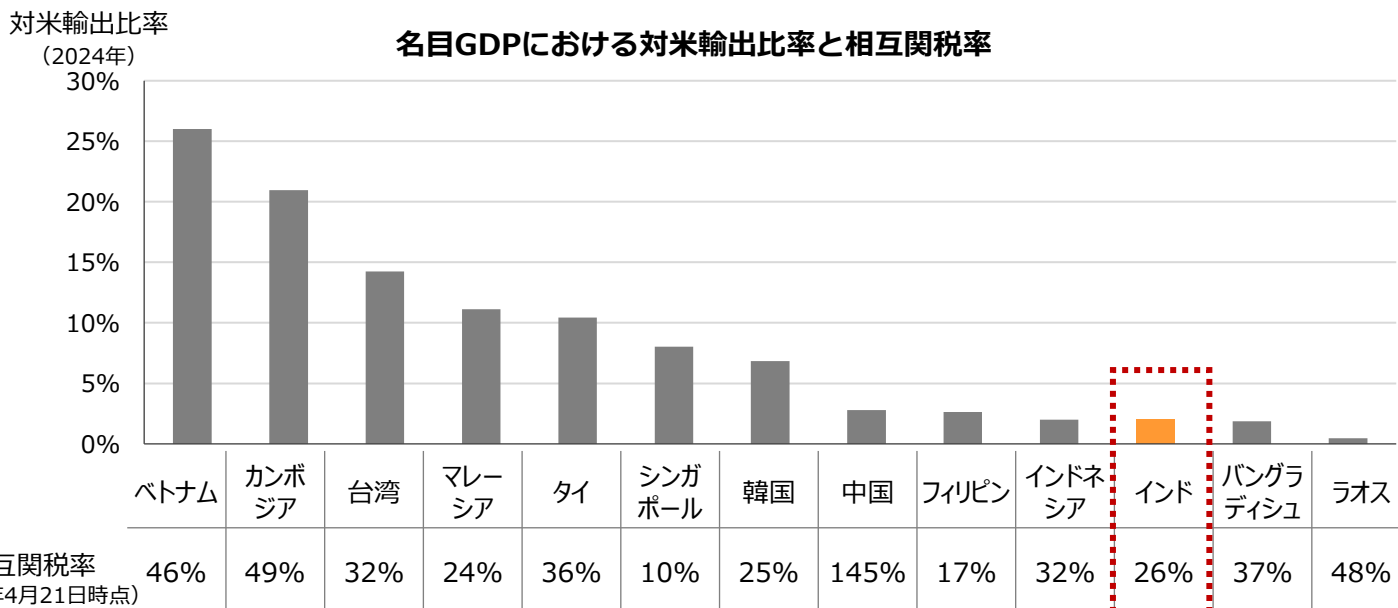
- ✓ インドの2025年1-3月期のGDP成長率は、7.4%と高成長を維持しています。
- ✓ 今後も年間6%台の成長が予想されており、高水準の成長が続くと予想されています。
- ✓ 2028年には世界第3位の経済大国となる見込みであり、今後も巨大なインドの成長は止まらないとみられています。



出所：IMF World Economic Outlook (April 2025) のデータよりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

## 米国関税措置の影響は限定的

- ✓ インドは外需依存度が相対的に低く、米国の関税措置の影響は限定的と考えられます。



対米輸出比率は、各国対米輸出額を各国名目GDPで除して算出

対米輸出額は、シンガポールは2024年2月～2025年1月、インドは2023年4月～2024年3月、ラオスは2023年12月～2024年11月

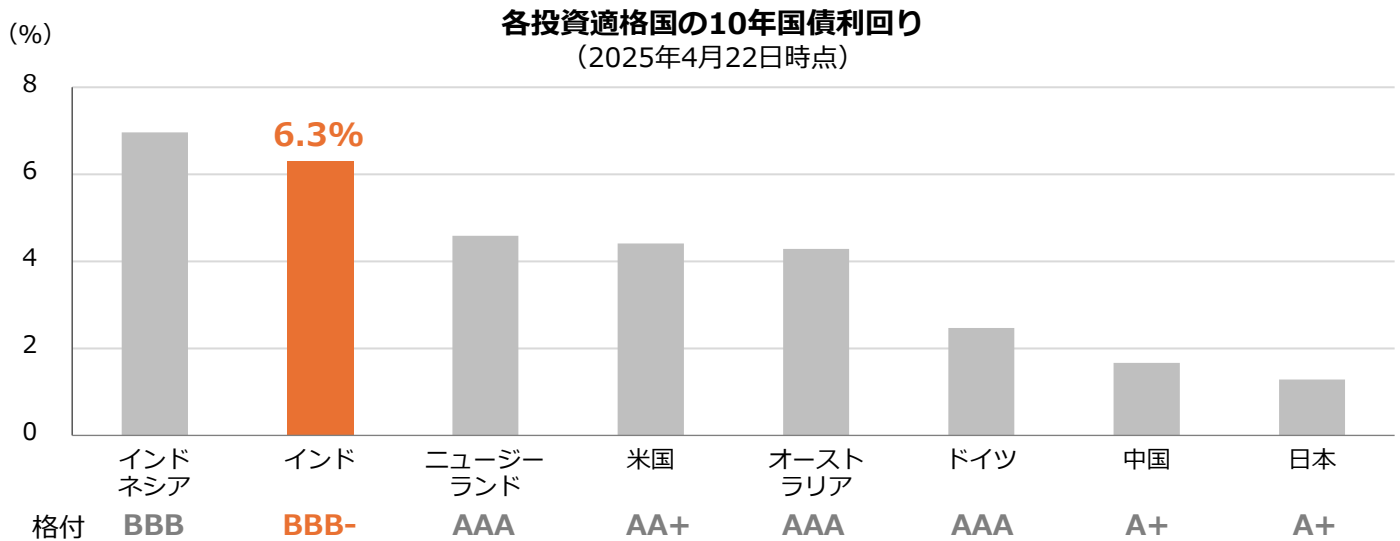
出所：JETRO、CEIC、IMF World Economic Outlook (April 2025) のデータ、および各種報道よりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。  
当資料に関する留意事項については、巻末をご覧ください。

# 高まるインド債券の魅力

## 相対的に好利回り

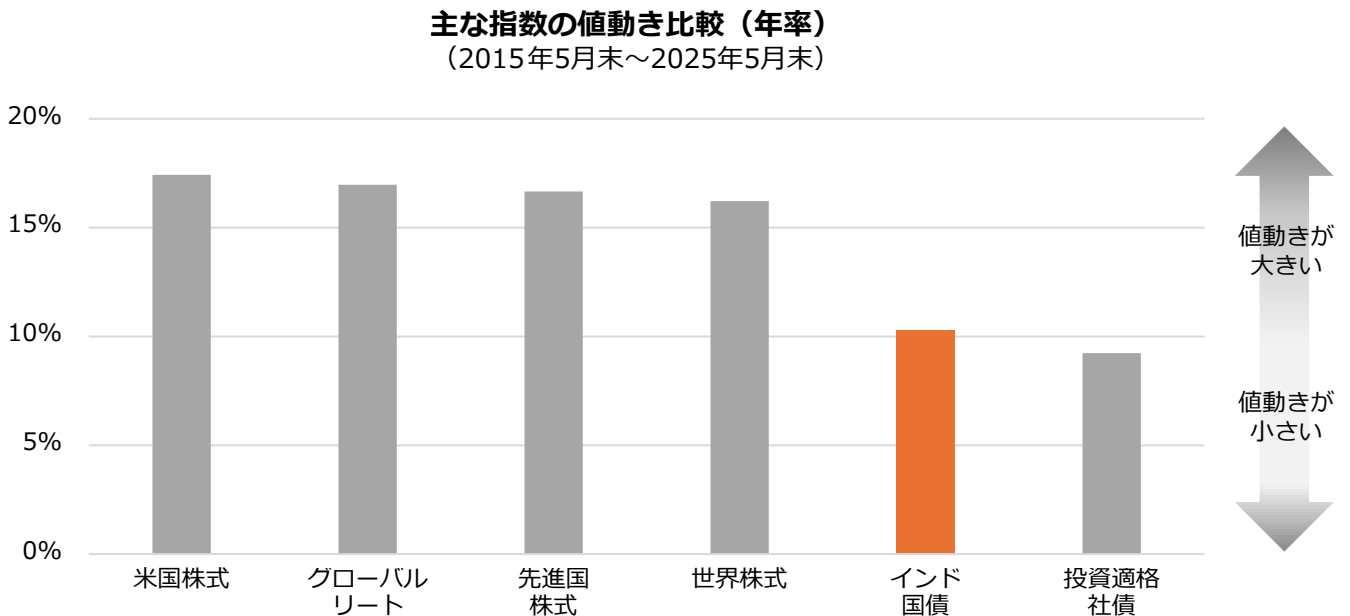
✓ インドの10年国債利回りは投資適格国の中でも高水準です。



格付はS&Pグローバルレーティング、ムーディーズ、フィッチの中から最高格付を記載  
出所：HSBCアセットマネジメントの資料、BloombergのデータよりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

## 相対的に小さい値動き

✓ インド国債の値動きは相対的に小さく、比較的安定した投資先と考えられます。



米国株式：S&P 500、グローバルリート：S&P Global REIT Index、先進国株式：MSCI World Index、世界株式：MSCI AC World Index、インド国債：ICE BofA India Government Index、投資適格社債：Bloomberg Global Aggregate - Corporate Indexを使用  
いずれもトータルリターン、円ベース

出所：LSEGのデータよりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。  
当資料に関する留意事項については、巻末をご覧ください。

# 高まるインド債券への資金流入期待（1）

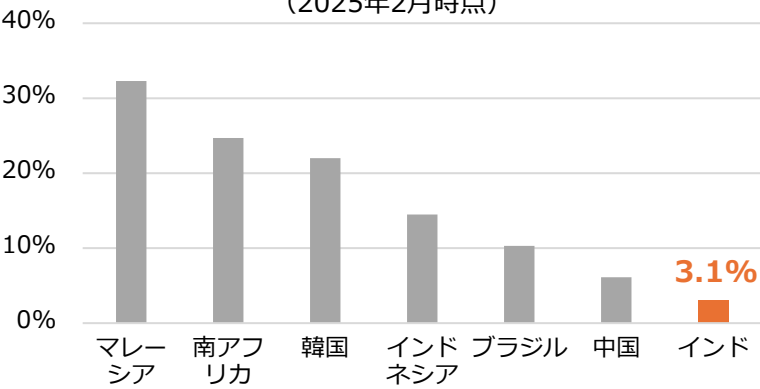
## 今後期待される海外からの資金流入

✓ 他の新興国国債と比べ、インド国債の海外投資家保有比率は低水準であり、今後インド債券に注目が集まることで、多額の資金流入が見込まれています。

### インド国債への資金流入期待のわけ

- ① 世界的債券指数への組入れ
- ② 資産分散化のメリットがあると考えられる戦略的アロケーション
- ③ 相対的に安定した通貨
- ④ 足元の安定したインフレ率と利下げ期待

各新興国国債の海外投資家保有比率  
(2025年2月時点)



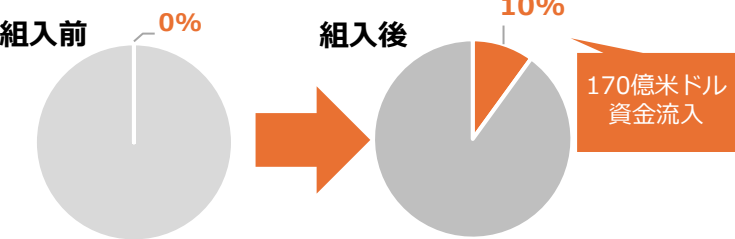
出所：HSBC Global ResearchのデータよりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

### 資金流入期待①

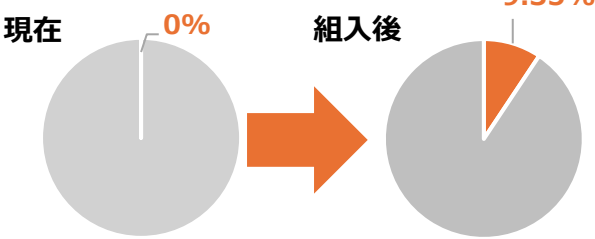
## 世界的債券指数への組入れ

- ✓ インド国債は2024年6月からJPモルガン新興国債券指数への組入れが開始されており、2024年に海外からインド国債に流入した金額はおよそ170億米ドル（約2.5兆円\*）に上りました。
- ✓ 2024年10月には、FTSEラッセルが新興国市場国債指数（EMGBI）への採用を発表し、2025年9月から組入れが始まります。組入比率は9.35%となり、多額の資金流入が見込まれます。

【JPモルガン新興国債券指数】



【FTSEラッセル新興国市場国債指数】



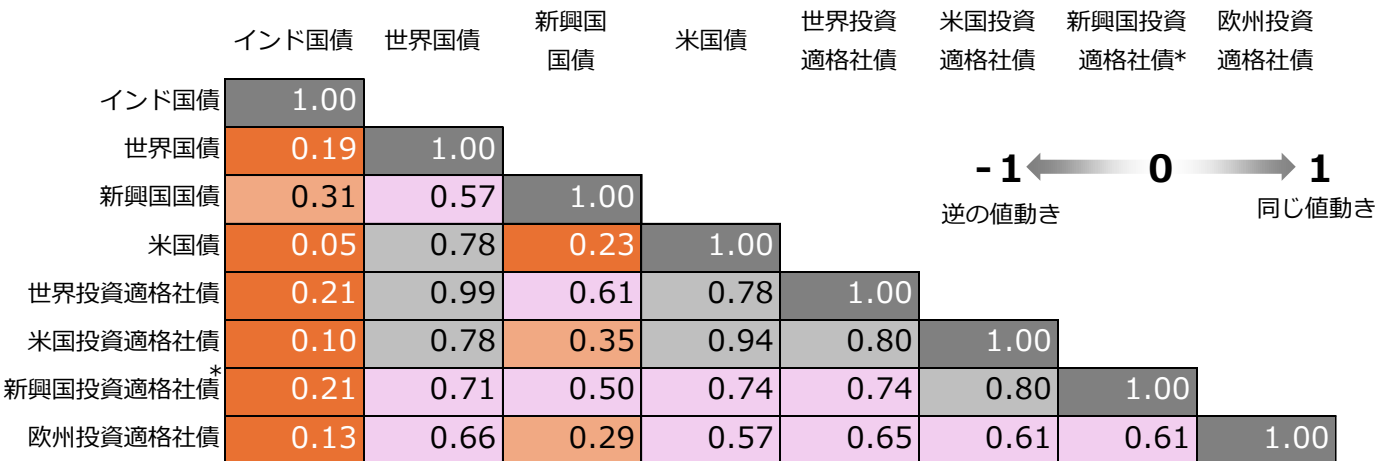
\* 2025年5月30日の為替レート、1米ドル=144.30円で換算  
出所：LSEGのデータ、各種報道よりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

### 資金流入期待②

## インド債券の戦略的アロケーション

- ✓ インド国債は他の主要債券市場との相関が低く、分散化のメリットがあると考えられます。

インド国債と各主要債券市場との相関  
(2020年4月～2025年4月)



出所：HSBCアセットマネジメントの資料よりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成 \*米ドル建て

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。  
当資料に関する留意事項については、巻末をご覧ください。

# 高まるインド債券への資金流入期待（2）

## 資金流入期待③



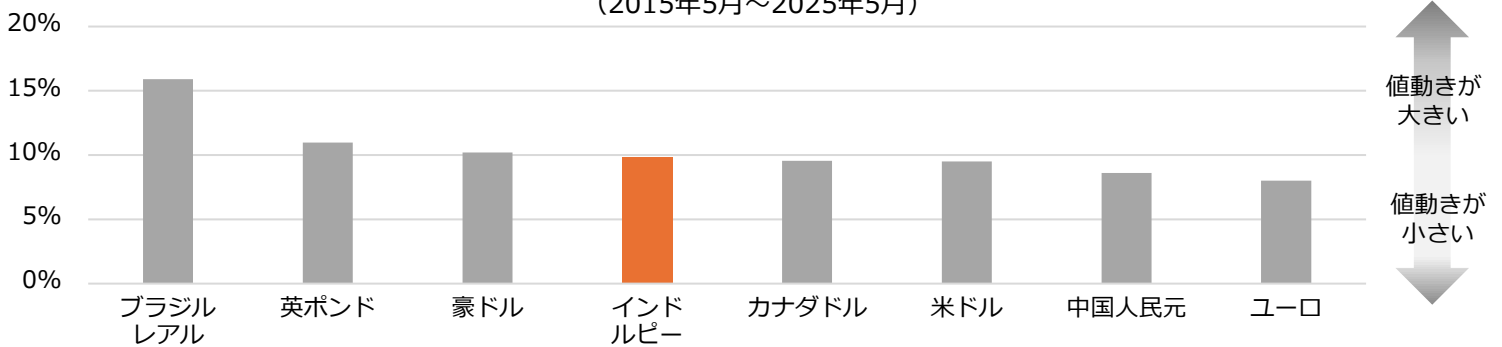
### 通貨の安定性

- ✓ インドルピーは対米ドルにおいて、相対的に変動率が低く、海外投資家が参入しやすい環境にあります。
- ✓ また対円においても他の先進国通貨と同水準の変動幅であり、為替変動リスクに大きな心配はないと考えられます。

各通貨の過去10年変動率（年率、対米ドル）  
（2015年5月～2025年5月）



各通貨の過去10年変動率（年率、対円）  
（2015年5月～2025年5月）



出所：LSEGのデータよりHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

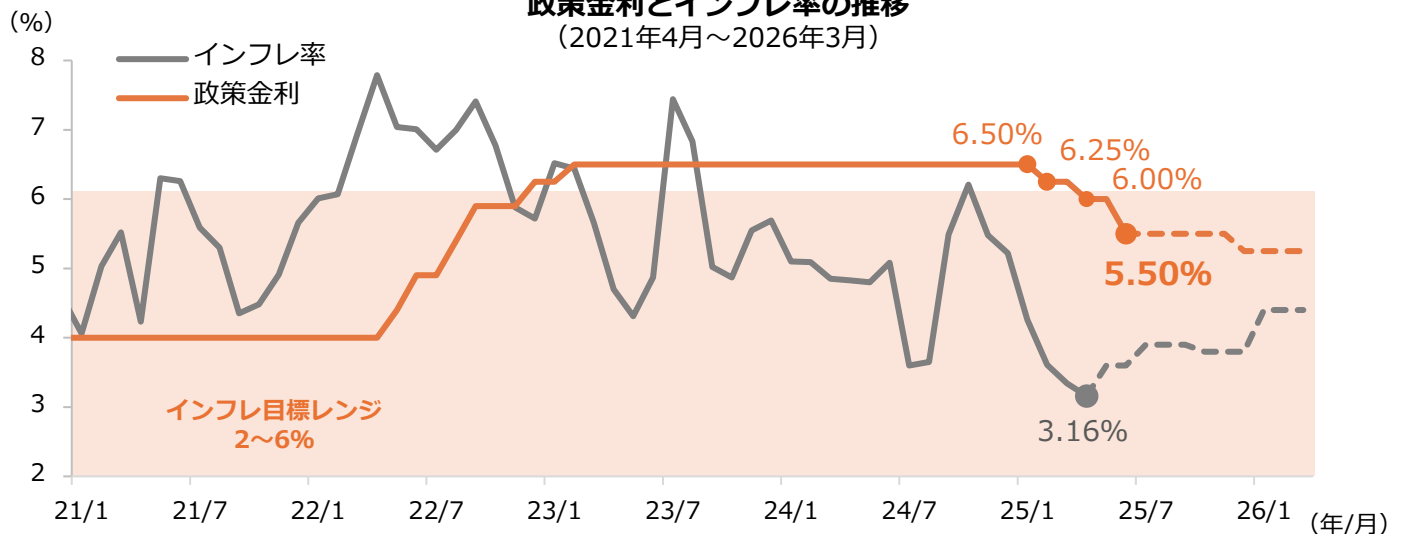
## 資金流入期待④



### 利下げ期待

- ✓ インフレ率は足もと3.16%と落ち着いており、インド準備銀行の目標2～6%の範囲内に収まっています。
- ✓ 世界経済の減速に伴う内需の成長鈍化懸念を背景に、インド政府は2025年2月以降利下げに転じており、6月6日の金融政策決定会合では、0.50%引き下げ5.50%としました。前回（4月）に続き、3会合連続の利下げとなりました。

政策金利とインフレ率の推移  
（2021年4月～2026年3月）



※ インフレ率は消費者物価指数（前年同月比）、2025年6月以降の政策金利はHSBCグローバルリサーチ（2025年6月6日時点）、2025年5月以降のインフレ率はインド準備銀行（2025年4月9日時点）の予測値

出所：ブルームバーグ、HSBCグローバルリサーチ、インド準備銀行のデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。  
当資料に関する留意事項については、巻末をご覧ください。

# 留意点

## 【当資料に関する留意点】

- ◆ 当資料は、H S B Cアセットマネジメント株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買、金融商品取引契約の締結に係わる推奨・勧誘を目的とするものではありません。
- ◆ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ◆ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ◆ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

## <個人投資家の皆さま>

### 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

### 投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.85%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的に ご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年2.20%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。

- ◆ 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
- ◆ 費用の料率につきましては、H S B Cアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
- ◆ 投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## H S B Cアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会



ホームページ

[www.assetmanagement.hsbc.co.jp](http://www.assetmanagement.hsbc.co.jp)



電話番号 03-3548-5690

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）